



Coin LAUNDRY



左側がランドリー。モノトーンの色使いが新鮮。壁に掲げた「have a nice wait!! (待ち時間を楽しく!)」というメッセージが、この新しいスタイルを物語る。

CAFE



本場公園を併せて「WORLD NEIGHBORS CAFE」。タイル通りのアメリカン&スキャンジビアンな空間では、こだわりのトースティーをはじめとしたフードやドリンクが楽しめる。

&

# Share with LAUNDRY

カフェ&ランドリーの斬新なスタイル

[ Soo Liquid / 東京・清澄白河 ]



## Coin LAUNDRY



入居者（2017年11月現在清室）には専用のバッグが配られ、月2回の無料洗濯代行も受け付けている。裾に溶け込んだ洗練されたデザイン性だけでなく、行き届いたサービスが魅力的だ



「Soo Liquid」にはスタイリッシュなスウェーデン製エレクトロニクスの業務用洗濯機9台、乾燥機16台、23kgがそれぞれ2台、全自動洗濯乾燥機（洗濯15kg、乾燥27kg）を設置。羽毛布団やラグ、ソファカバーなど家庭用では洗濯乾燥できないものにも対応しているため、街に住む人々にも愛用している

## CAFE



shop data

- 住所：東京都江東区平野4-13-1
- TEL：03-6458-8853（カフェ）
- URL：https://www.social-apartment.com
- 営業：ランドリー 10:00～21:30、土・日・祝日 9:00～20:30  
カフェ 11:00～22:00、土・日・祝日 10:00～21:00
- 休め：水曜（カフェ、ランドリー共に）



8枚切り食パン2枚で挟んだ「WORLD NEIGHBORS CAFE」名物のトースティーは、10種類。ボークソテーとオレングラス等を合わせた「WNCランドイッチ」（1,200円、写真）がおすすめ。「オキナワハイビスカスタワー」（500円）は、まっぴりフルティアー。新豆を厳選したハンドドリップコーヒー（450円）もぜひ



ここ数年、サードウェーブコーヒーなどの新しいカルチャーが生まれ、注目を集めている清澄白河。その中の、木場公園を望むパークフロントに誕生した「ワールドネイバース清澄白河」が話題となっている。こちらを手がけるのは、共同住宅「ソーシャルアパートメント」を展開するグローバルエージェンツ。現在まで首都圏で36棟展開する中、初の取り組みとして、1Fにカフェ併設のコインランドリーを導入した。

ソーシャルアパートメントは、暮らすだけでなく、ラウンジやキッチン、バースペース、ワーキングスペースなど洗練されたデザインの一部として、まず系列のワールドネイバース清澄白河の1Fに、誰でも入れるカフェを併設しました」と話すのは、同社コミュニケーションデザイナー 部マネージャーの廣田章剛さん。

その着想をもとに、日本古来の

## 「奪われる」時間を「生まれる」時間にリビルド

コインランドリー文化を再定義。そこで生まれたのがランドリー「Soo Liquid」にカフェ「WORLD NEIGHBORS CAFE」を併設した新しいスタイルだ。

「コインランドリーをただ洗濯で使う場ではなく、カフェで、過ごす場として開放することで、コミュニティに発展する可能性が生まれます」

昨今、共働き世帯が増え「短時間」や「効率化」がキーワードになり、コインランドリーが注目を集めている。さらには、これまでの「奪われる」ものだった時間を「生まれる」ものと捉え、その時間を争ひやスポツといった自分のために過ごすだけでなく、「交流」という価値を提供。ローカルにシェアされた新しいコミュニティの場となっている。

その場であるWORLD NEIGHBORS CAFEでは、系列のベーカーリーが作る自家製パンを使用した本格トースティとハンシロップやフレッシュフルーツのサーワー等のドリンクを提供。カフェ車体でも充実しているので、早も地元人の憩いの場となっており、既存のものを超えてという発想によって、新しいカルチャーが生まれようとしている。